

MIHO MUSEUM会場

中世のやきものの優品の持つ「力強さと素朴さ」が感動を与えます。

■開催中～12月12日(日)

秋季特別展「古陶の譜 中世のやきもの—六古窯とその周辺—」
(月曜休館)

まちなか会場

まちなか会場では「窯元の日常を見せる」「工房見学や「窯元のお宝を見せる」歴代展が来場者に大人気です。ガイドブックやマップを見ながら、まちなかを自由に散策し、陶産地の風土や景観を楽しむことができます。



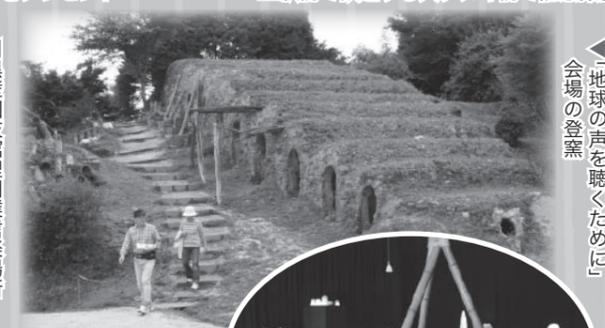
▲信楽駅ではオリジナル煎餅「駅煎」をプレゼント



▲駅前で歓迎する大タヌキ前で記念撮影



▲黒壁国技館狸相撲信楽場所の熱戦



▲「地球の声を聴くために」会場の登窯



▲土灯りの散歩道展覧会



- 11月3日(水・祝) 15時～
移動体ギャラリーシンポジウム
(藤喜陶苑)
- 11月9日(火)～23日(火・祝)
作家の一語・信楽での一会(新宮神社)
- 11月23日(火・祝)
狸相撲トーナメント千秋楽(黒壁)

まちなみまるごとアート化活動での版築作業▶



▲来場10万人目を祝い、中嶋市長から記念品を受け取る神戸市西区・河中裕治さん、政子さん夫妻

紫香楽宮会場

紫香楽宮は、聖武天皇が信楽の地に造営し、首都になった都です。たくさんさんの焼物で生活を彩った都の暮らしが陶都「しがらき」の原点です。日本ではじめて出土した「万葉歌木簡」やマリーゴールドの花で浮かび上がらせ再現した紫香楽宮の朝堂跡を見ることができます。



▲紫香楽宮ゆかりの作品を展示



▲陶人形で都のある一日を再現

- 11月7日(日)9時～
紫香楽宮跡たっぷりウォーク
(信楽高原鉄道雲井駅集合)

朝宮会場

朝宮茶の歴史や製造工程を学べる展示、製造実演会や、美味しい朝宮茶を味わうことができる試飲、即売会を開催します。

11月23日(火・祝)には、朝宮茶の振興を願う恒例の「朝宮茶まつり」が開催され、朝宮小学校ではお茶の販売や軽食コーナーなどが設けられます。

- 11月7日(日)・14日(日)・23日(火・祝)10時～16時
朝宮茶と信楽焼(朝宮農業技術拠点施設)



▲朝宮茶の手もみ体験

陶芸の森会場



▲信楽ライフセラミックス展



▲最大規模で行われた陶器市(10月9日～11日)

「信楽まちなか芸術祭」のメイン展示である「信楽ライフ・セラミックス展」では、信楽焼のある「生活の心地よさ」をテーマに、日常の暮らしに新たな生活シーンを提案します。「信楽ライフ・セラミックス展」の企画展も開催します。

- 開催中～11月23日(火・祝)
環境とくらし展(信楽産業展示館)
- 11月2日(火)～26日(金)
ピアマグ展(信楽産業展示館)
- 11月14日(日)13時～
談話会(信楽産業展示館ホール)
- 開催中～12月12日(日)
特別展
「しがらきやき—直方の茶陶 春斎の壺—」
(陶芸館)

信楽焼を代表する二大巨匠にスポットを当て、信楽焼の魅力を紹介します。

信楽まちなか芸術祭11

盛り上げよう

会期 ● 10月1日(金) ～ 11月23日(火・祝)

深まりゆく秋の信楽を舞台に、地元の方のあたたかいおもてなしやまちの魅力を発信する多彩なイベントが展開される「信楽まちなか芸術祭」。まち全体が会場の「信楽まちなか芸術祭」では楽しみや感動があらわらここにいっぱいです。今回は、そんな風景とこれからの見どころをご紹介します。